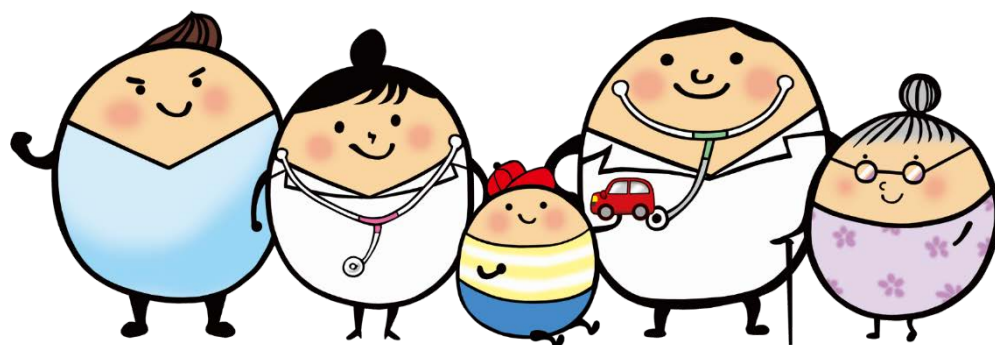


平成 29 年度
えんネット
報告書



1.教育

1) キャリア教育

臨床実習前の医学科 4 年生対象にしたキャリア教育（男女共同参画講義）を島根県医師会と共に、主催している。

日時：平成 30 年 3 月 1 日（木）

場所：島根大学医学部臨床大講堂

対象：島根大学医学部 4 年生ならびに島根県医師会会員

主催：島根大学医学部地域医療支援学講座 島根県医師会

共催：日本医師会 島根大学男女共同参画推進室 島根大学医学部附属病院ワークライフバランス支援室

<グループワーク>

秋田大学医学部総合地域医療推進学講座 准教授 蓮沼 直子先生

<キャリアモデル講演>

島根大学医学部 消化器内科 医員 沖本 英子 先生

腎臓内科 講師 伊藤 孝史 先生

器官病理学 講師 荒木 亜寿香 先生

<島根大学男女共同参画の取り組み>

島根大学学長特別補佐（男女共同参画担当）河野 美江 先生

<島根県「えんネット」の取り組み>

地域医療支援学講座 准教授 佐野 千晶

<医師会講演>

「男性学の視点から男性の仕事中心の生き方を見直す」

大正大学心理社会学部人間科学科 准教授

厚生労働省イクメンプロジェクト推進委員会委員

田中 俊之 先生

2) ワークライフバランス講義

島根大学医学部医学科 1 年生対象 「地域医療学」のコースにて、「Work-Life Balance and Health Promotion」の講義を准教授 佐野が担当した。

コースの中で、少人数グループワークを行い、発表についての指導を行った。



3) 医師生活密着型実習

医師密着型実習とは、島根でがんばる医師に同行して実習を行い、自分の将来像を探することを目的にした実習である。

今年度も女性医師にご協力いただき、女子学生が特定の医師について、病院実習を行った。実習では、医師の一日の始まりから終わりまで密着し、仕事以外の保育園の送迎や家事などの生活場面も合わせて一緒に体験した。

参加した学生さんからは「女性は結婚・出産などのライフイベントが自分の時間に与える影響が大きいので、医師としてやりたいことを全部やるのは難しいのではないかと思います。先生は家庭をもちながら、診療・検査・研究など精力的に活動されていて、とても素敵で憧れました。」「先生の結婚・出産の頃のお話しも伺い、やりたいことをあきらめずにされている強さに自分も勇気ができました。」といった意見が聞かれた。

協力女性医師の所属

- ・ 出雲市総合医療センター 医学科 2 年生 内視鏡検査に密着
- ・ 飯南病院
- ・ 浜田国保診療所連合体
- ・ 島根大学医学部附属病院 など

4) 地域とともに課題を見つめ、キャリアをデザインする

しまねガールズ・サイエンスプロジェクト

島根大学男女共同参画推進室が進める JST「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に協力している。

- ・ 女子高校生の病院実習の女子医学生テーチングアシスタントの派遣
- ・ 出前授業 女子学生が多くを占めるクラスの授業を行い、島根県における医療の魅力を発信している。

2018 年 1 月 26 日 益田翔陽高校 講師：佐野千晶

5) マルガリータ先生を囲んでランチョンセミナー

スウェーデンのワークライフ・バランス事情や家庭医療について、スウェーデン ルンド大学 家庭医学 教授 Margareta Troein を囲んでランチョンセミナーを行いました。

日時： 2017 年 11 月 20 日(月)

参加者：医学生 8 名、 職員 2 名



2. 就労支援

1) 相談窓口

平成 26 年 8 月から働き方に不安を抱える方の窓口（えんネット）を設置し、出産・育児後の女性医師等が安心して職場復帰や、現在の働き方に悩みを抱える方のために個々に応じた復職への相談も受け付けている。復職支援プログラム作成や復職に向けたシミュレーション教育等を支援して、専門に応じた対応が必要な場合は、支援担当員として協力いただく専門科の先生に相談を受けることも可能としている。

相談件数 12 件

・相談窓口事業の相談内容

- (1) 県内に赴任した際の研修機会の確保
- (2) 離職後の段階的なスキルアップについて
- (3) 異動先の院内保育所等 福利厚生状況
- (4) 身体的不調、精神的不調
- (5) ライフイベントに関連した働き方
- (6) ライフイベントと奨学金返還免除期間

2) 復職サポート

病院を紹介し、復職のために必要なサポートを行った。具体的には、復職に協力してくれる病院へ条件や接遇についての交渉を行った。また、医師への図書や DVD、スキルアップセンターの利用（シミュレーション研修）等を促し、勤務の準備の支援を行い、勤務が開始された後は定期的な連絡を取り、アフターフォローを行った。

3) 女性医師と医学部学生のイブニング交流会（えんネット交流会）

日時：平成 29 年 6 月 7 日（水）

会場：共通カンファレンス みらい棟 2 F

女性医師の働き方、女性医師同士の横のつながりを持つために開催した。

女性医師らと女子学生とで議論が深まった。

参加者：敬称略 順不同 荒木亜寿香（病理学），
守田美和（内分泌・代謝内科），
大西千恵（血液内科），森山繭子（膠原病内科），濱
口 愛（呼吸器内科），飛田礼子（皮膚科），長谷川
有紀（小児科），真子絢子（小児外科），城麻衣子
（心臓血管外科），林田麻衣子（精神科），堀田優希江
（耳鼻咽喉科），吉廻浩子（眼科），吉田理佳（放射線



科), 皆本敏子 (産婦人科), 加藤綾子 (研修医), 河野美江 (学長特別補佐 産婦人科医
男女共同参画推進室), 田中真美 (ワークライフバランス支援室副室長)

4) Career Café for Doctors (キャリア カフェ)

平成 29 年 12 月 13 日 (水)

場所: 共通カンファレンス (みらい棟 2F)

参加者: 女性医師 3 名 女子学生 3 名

講座スタッフ 2 名

仕事について思っていること, 「キャリアアップの手がかりって。」「将来像のイメージがわからない。」「ロールモデルが周囲にいない。」「結婚して、子供がほしい。」「島根って出会いがなくてない?」「何科が自分にあっているのかよくわからない。」「今時の病院でのワークライフバランスって。」「自分に自信がもてない。」などについて話し合いました。



3. 研究・発表

1) 第 8 回プライマリ・ケア連合学会学術大会 ワークショップ発表

日時: 平成 29 年 5 月 13 日

場所: 高松市・サンポートホール高松

ワークショップ 19: 今, 私たちの求めるサポートとは? キャリア支援プログラムを知ろう! 語ろう! (企画責任者 白石裕子 隠岐広域連合立隠岐島前病院)

プレゼンター: 佐野千晶

タイトル: 島根大学医学部における女子学生, 女子若手医師の面談を通して

2) しまね大交流会 2017 (オールしまね COC+事業)

えんネット パンフレット配布

日時: 平成 29 年 11 月 18 日

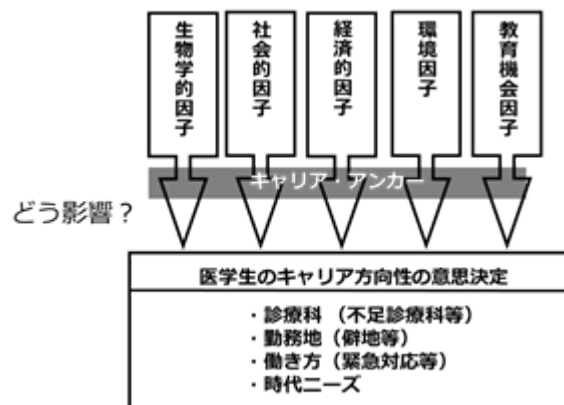
場所: 松江市 くにびきメッセ大展示場

県内の企業・行政・NPO、また学生や大学研究室が行っている様々な事業や地域活動が展開された。

3) 学生のキャリアアンカーについての研究

研究代表者：佐野千晶

医学生のキャリア認識が、どういった生物学的因子、社会的因子、経済的因子、環境因子、教育機会因子と関連しているのかについてキャリア・アンカー理論を応用し、研究している。



4. 広報

1) えんネットマガジンの発行

特集：隠岐で活躍する女性医師達

隠岐島前病院 白石 裕子先生ら 5名の女性医師にインタビュー取材

取材日時：平成 29 年 11 月 16 日

3,500 部 発送予定

2) えんネットホームページの更新（随時）



<http://www.en-net.jp>

3) 島根大学医学部附属病院ニュース記事掲載

- ・2017年4月号

「男女共同参画講義を行いました」

- ・2017年8月号

「女性医師と医学生とでワークスタイルについて意見交換しました。」

- 平成29年度 えんネット交流会 -」

5. 託児付セミナー支援

- ・ブラッシュアップ講習会 in 出雲

日時：平成29年6月3日(土)

場所：島根大学医学部講義棟国際交流ラウンジ

- ・総合診療ワークショップ

日時：平成29年6月17日(土)

場所：島根大学医学部講義棟国際交流ラウンジ

- ・専攻医のつどい

日時：平成29年12月3日

場所：島根大学医学部講義棟国際交流ラウンジ